


平成28年度じんけんスタディツアー 第1回実施報告

<p>テーマ</p>	<p>「部落の歴史から学ぶ」 ～尼崎市域を中心として パート2～</p>	
<p>日時</p>	<p>平成28年7月25日（月曜日） 午前10時から12時00分まで</p>	
<p>場所</p>	<p>尼崎市立地域総合センター南武庫之荘 教室1</p>	
<p>講師</p>	<p>公益社団法人尼崎人権啓発協会事務局長 三澤 雅俊さん</p>	
<p>参加者</p>	<p>35名（内訳 登録者10人、職員研修7人、市民他18人）</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>じんけんスタディツアーの出発式とともに、尼崎市域を中心とした部落の歴史から、部落についての理解を深め、今なお差別をする理由となっている偏見が誤っていることについて考え、人権意識を高めることを目的に実施しました。</p>	
<p>実施内容</p>	<p>1 出発式</p> <p>① あいさつ（田村常務理事）</p> <p>②人権スタディツアーの説明（司会者）</p> <p>2 講演内容</p> <p>初めに講師から、昨年の1回目のアンケートで、もう少し続きを聞きたかったとあったことから、今回パート2としてお話ししますということと、前回も言ったが、部落の歴史を学ぶ意味について、部落の歴史を学ぶことは、あそこが部落だったのか、これから気をつけよう、子供の結婚の時は反対しようということではなく、今なお差別する理由になっている偏見が正しいのかを学び、差別をなくしていく立場になってもらうために歴史を学んでほしいと、再度話されました。</p> <p>その後、明治4年に「身分解放令」出されてからの尼崎市域の被差別部落についての話、出されたにもかかわらず、現在まで部落差別が解消していない理由を歴史的な事象のお話がありました。</p> <p>また、同促協（現、尼崎人権啓発協会）が編纂した「尼崎部落解放史」から、各地区高齢者から聞き取りをした戦前頃までの差別体験を話され、今では考えられないよ</p>	

	<p>うな差別があったとの報告がありました。また、今回は、特別措置法ができてからの  尼崎市の同和対策事業や、現在のインターネット等、部落差別の実態に触れられ、最  後に、差別をなくしていくために、差別を理由付けしていた偏見を取り除くこと、差  別はしないというだけでなく、差別をなくしていく側の人過半数以上になれば、そ  れが部落問題や、人権問題解決の近道であり、なくす側の人間になってほしいとい  う言葉で閉められました。</p>
<p>参加者からの 感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育として子どもたちに伝えていくべきだと思いました。</li> <li>・ 具体的な差別を聞かせてもらえた。</li> <li>・ 部落差別の現状が未だに残っている様子が多少分かった。これをなくすために努 力したいと思います。</li> <li>・ パート3に期待。「差別しない側の人間が過半数になるまで闘いは続く」は同感で す。共にがんばりましょう。</li> </ul> <p>○参加して、人権についての考え方に変化があったか（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 「人権」について新しいことを知った。 6人</li> <li>2 「人権」について理解が深まった。 10人</li> <li>3 「人権」について考えるきっかけになった。 4人</li> </ul> <p>○参加して、何か行動しようと思いましたか（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 人権問題に関心を持ち偏見を持ったり差別をしないようにしたい。 13人</li> <li>2 人権問題についてもっと知識を深め勉強する機会を持ちたい。 10人</li> <li>3 今回の内容を家族や友達に説明し、話を持つ機会を持ちたい。 4人</li> <li>4 ほかの人権に関するイベントにも機会があれば参加したい。 6人</li> </ul>
<p>成果と課題</p>	<p>予想以上の参加を得ることができ、また、当日会場でスタディーツアー登録希望者  があったこと、部落問題への意識関心が高まったことが成果としてあげられる。</p> <p>課題として、これから様々な手法でこの事業をPRし、次回以降の参加登録者を増 やすための工夫をしていく必要がある。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市職員研修としても位置づけ実施しました。</li> </ul>